

くれない



Vol.36

平成27年
4月25日 発行

武蔵野女子学院 同窓会くれない会

散華乙女70年出版記念号



表紙写真 高女21回生岩崎政子さん（旧姓 竹下）



『あの日をわすれないために』

武蔵野女子学院生の戦争証言集

武蔵野女子学院同窓会くれない会 編

定価：1,500円

『あの日をわすれないために』
発行にあたって

くれない会は、二〇一五年四月十三日に『あの日をわすれないために』と題して、本校同窓会の戦争証言集を発刊しました。左の写真は、その本の表紙です。武蔵野女子学院創立九十周年の歴史の中には、戦争という過酷な激動の時代があります。本校にも昭和十九年十二月三

日空襲があり爆弾が落ちて、四名の生徒が亡くなりました。高等女学校生、十七歳でした。今年であの悲しい出来事から七十一年が経過しました。

紅雲台にあるくれない会納戸に、学徒勤労動員として働いていた生徒達の工場日誌や、戦争体験を綴ったものが散見されました。それらを読んで戦争という時代の大きな潮流の中で、けなげに生きている生徒達の姿が目につかび、胸に熱くこみあげてくるものがありました。

これら貴重な資料を一冊にまとめたと考え、くれない会総会にはかり、会員の賛同が得られましたので、発刊の運びとなりました。

これらの歴史的事実や、卒業生の当時の思いを、より多くの方々にそのまま伝えたいと思います。そして、戦争の悲劇と平和の尊さを次の世代に語り継いでいくことが大切と考えます。皆様には是非、ご一読頂きたいと思えます。

くれない会会長 阿部 美枝子



武蔵野女子学院と本願寺

学校法人武蔵野大学 学院長
くれない会名誉会長

田中 教照

武蔵野女子学院はなぜ浄土真宗本願寺派の関係学校なのかというお尋ねがありましたので、今回はそれについて簡単に説明することにしましょう。

現在、浄土真宗のみ教えを建学の精神にする学校は、全国に7つの大学、2つの短期大学、27の高校、15の中学校、4つの小学校、14の幼稚園、1つの保育園があり、都合27学園70校をまとめて龍谷総合学園と称しています。

武蔵野女子学院が正式に浄土真宗本願寺派の関係学校になったのは戦後のことですが、しかし、浄土真宗本願寺派の本山である京都の本願寺、通称西本願寺と本学院の関係は学院創設の時から密接なものでありました。

まず、創設の地は本願寺の築地別院の境内でありますから、本願寺の理解とバックアップなしには不可能なことでした。そして、創設者、学院長は高楠順次郎先生ですが、創設に協力して、武蔵野女子学院財団を作り、初代の理事長になられたのは、当時、本願寺の門主である大谷光瑞猊下の弟君で前の本願寺執行長、大谷尊由師です。

当時の学校法人は、いずれも創立の資金を寄付でまかなっていましたので、規約が寄附行為と名付けられて今日にいたっています。そして、財団法人としての運営でした。この財団法人が解散して学校法人になったのは、戦

後のことです。

現在の武蔵野キャンパスは当時の住所を東京府北多摩郡保谷村上保谷新田といい、大谷光明師が所有しておられた土地です。それを寄付していただき、そこに昭和五年に講堂や校舎を建設して移転するのですが、講堂や校舎の建設資金がまったく不足していることから、本願寺教団が、近い将来、国宝になるであろう歌集三十六人集のうち、伊勢集と貫之集を手放して建設資金に充てて下さったのです。

この学院を創設して下さったのは、当時すでに高名であられた高楠先生ですが、設立の実務とその後の運営、千代田女子専門学校の移管など難しい問題乗り越えて今日の繁栄の基礎を築いて下さったのは、第二代学院長の鷹谷俊之先生でした。鷹谷先生のご家族は、リュックに多摩川の砂を詰めて運んで、東京空襲で破壊された校舎の修繕に当たられたと、鷹谷るり子先生から伺ったことがあります。

先人のこの学院に対する熱い思いと次世代の育成への並々ならぬ努力があつてこそ、今があると思っ



新校長就任ご挨拶

武蔵野女子学院中学校高等学校校長
くれない会顧問

木谷 道明

今年度から学校長に就任いたしました。同窓会くれない会会員の皆様何卒宜しくお願いいたします。

私は昭和二十七年生まれの現在六十二歳。出身地は東京都文京区で生まれ育ちました。学校長職は初めてなので心が弾む反面、緊張とが心の中で入り乱れております。

私立学校はどの学校もそれぞれ建学の精神・教育目標を掲げており、それに沿って教育をしております。

武蔵野女子学院は特に仏教精神にもと

づく教育であります。最初は戸惑う事も多々あるかと思いますが、生徒と共に学び実践してまいりたいと思っております。

生徒のため、教職員のため、さらに卒業生の皆様のために、学校運営に学校改革に邁進していく覚悟でございます。古き良きものは残しつつ、必ず多くの人に親しまれる新しい学校を作っていきます。

まだまだ自分自身いたらないところがいっぱいあると自覚しておりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。



ご報告

くれない会会長（高校十六回生）

阿部 美枝子

同窓会の皆様にご挨拶申し上げます。

くれない会では、異なる年代のより多くの同窓生にこのくれない会に興味や感心を持っていただけるようこの一年努力してまいりました。

お蔭様で多くの方々に協力いただきながら、いろいろな事業を行うことができました。

順に一年間の新しい事業をご報告申し上げます。

一 教養講座を設け、講師の方々をお

呼びして「一生にかかるお金の話」「身近な相続」「心にやさしい豊かな和食」（今回はクリスマス料理）「文化とコミュニケーション」の講演を行いました。平日ではありましたが多くの方々に参加して頂きました。

二 くれない会報に「同窓生訪問」を設け、インタビューをさせていただきます。

その際高女十六回生の當麻喜代子様より多額のご寄付を頂きました。く

れない会の寄付と合わせて、中高がかねがね希望なさっていたグランドピアノを寄贈いたしました。今年度の総会後に、中高主催でこのピアノのお披露目会として音楽会を開催してください。是非皆様ご出席下さい。(詳しくは本誌11ページをご覧ください。)

三 文化祭バザー売上金より三万円を中学・高校の生徒会(紫紅会)に寄付いたしました。少額ではありますが、同窓会の母校への気持ちといたしました。今後は毎年実施となります。

四 大学同窓会むらさき会の会館設立を祝して大きな柱時計を寄贈しました。会館は本年五月には完成し、会館の玄関ホールに飾られる予定です。

五 十二月三日散華乙女追悼会を盛大に雪頂講堂で執り行いました。本校で爆弾により四人の生徒が散華して昨年十二月で七十年という節目でした。五十人もの同窓生の参加で、素晴らしい法要となりました。

六 くれない会近畿支部設立五十周年祝賀会を挙行します。来る十月二十九日京都西本願寺参拝後東急ホテルでお祝いの会を行います。本誌11ページの要領で実施いたしますので多くの方々のご参加をお願いいたします。

七 戦後七十年が叫ばれている今日、くれない会では『あの日をわすれな

いために』を発売致しました。会員皆様のご賛同を頂きまして発売できました。心より感謝申し上げます。紀伊國屋書店でも販売しております。

詳しくは12ページをご覧ください。

お願い

最後に同窓生の皆様には維持会費納入とご寄付をお願い申し上げます。

維持会費につきましては、(会費一年分一〇〇〇円)会員二万三千人中、維持会費納入者が一八七八名となっております(二十六年度)。維持会費納入者が大変少ない現状です。くれない会存続のため是非会費納入をお願いします。合わせてくれない会へのご寄付も随時受け付けております。

今年度より維持会費納入伝票の用紙が赤色から青色に変わりました。総会で納入費振込手数料ご本人負担と決まりました。ご理解宜しくお願いいたします。同窓生、皆様のお気持ちをお送りくださいますようお願い申し上げます。

本年度も皆様お元気で過ごしてください。委員会、総会、文化祭等々でお目にかかれることを楽しみにしております。



「私の街も戦場だった」を放映して

TBSディレクター 宮本 晴代(高校五十二回生)

「私の街も戦場だった」。こんなタイトルの報道特番を制作し、三月に放送しました。ナビゲーターは俳優・佐藤浩市さん。「戦争を語り継ぐ最後の機会」と、出演して下さいました。番組は、あまり知られていなかった、低空の空襲に注目。大戦中に、米軍が戦闘機などから撮影したカラーフィルムを発掘しました。十六時間を超える空襲映像には、逃げ惑う人影も見え、生々しい戦争の姿がそこにありました。

私は主に米国取材を担当し、米軍などとの交渉、フィルム映像の調査、そして当事者である元米兵を探しました。

驚いたのは、米軍が膨大な量の記録を保存し、情報開示していることです。「記録を残す」とはどういうことか、深く考えさせられました。残念ながら、日本側には戦時中の記録が圧倒的に不足しています。敗戦が確実になると、大量の機密文書が焼却されたのです。

また、米軍の報告書に、重点攻撃目標として「立川飛行場」、「中島飛行機武蔵製作所」が挙げられているのが目に留まりました。まさに、武蔵野女子学院のある一帯です。校内に爆弾が落ち、四名が亡くなった事実を思い出し、「私の街も戦場だったのだ」と胸の詰まる思いがしました。

救いもありました。日本を空襲した一人の元パイロットに辿り着いた時のこ

と。ご本人は亡くなっていましたが、戦地から妻に宛てて書いた、二八二枚の手紙が残っていたのです。そこには、一人の人間としての胸中が綴られています。「自ら望んで戦争に加わったわけではない。僕は本来、平和主義者だ」、「もし僕が死んだら、娘には出来る限り良い教育を受けさせて、大学まで行かせてやってくれ。」

こんな記述がありました。「日本がどんなに美しいか、君にもう伝えたかな? 田畑がどこまでも広がり、小さな神社が見える。大人も、子供達も、僕らの戦闘機の音が聞こえると、走って逃げていく。ダメだ。彼らを銃で撃つなんて、僕には出来ない。子供達と我が子の姿が重なって見える。戦闘機の轟音に怯えた子供達が、母親、父親のもとへ、小さな家へと逃げていく。ちくしょう、戦争は地獄だ。残酷で冷たくて、犠牲はあまりに大きい。」

戦後、帰還した米兵たちは、家族にも戦争のことを殆ど語らなかつたそうです。勝者、となつたはずの彼らは何を背負ってしまったのでしょうか。

今年は戦後七十年。世界の今の「かたち」と、「ゆくえ」を考えるには、過去を知ることは不可欠です。戦争体験者の証言を記録し、伝え続けていきたいと思います。

プロフィール

高2在学中ハンガリーへ1年留学。
上智大学外国語学部卒。
TBSテレビ報道局ディレクター

同窓生

訪問

● 五島 喜代子 (高女19回生) 女子学院での思い出



お友達にも恵まれ、のんびりとした女学校時代でした。

辛かった事・嬉しかった事

満州では母を、帰国後女学校の時に二番目の母を亡くしました。二番目の母も優しい人でした。学校に通いながら家事をこなし大変でした。食えることが大変でした。戦争が烈しくなり昭和二十年前には父は予備役召集令状で千葉方面に、兄は陸軍士官学校に入学し、我が家は小学校六年生の妹と二人きりになり毎日の空襲で緊張の連続でした。ただその頃の経験があったからその後の人生では何があっても大丈夫という気持ちで生きてこられました。

武蔵野女子学院には高等女学校の二年生から転校しました。満州での学校生活は、競争ばかりで、スパルタで教育され、あの頃はいつも緊張していました。ここ武蔵野女子学院に来て自由を感じるようになりました。満州から日本に戻り、女子学院に入る面接の時に、神田先生より「満州から来た生徒さんは成績があまり良くない」と言われ、負けまいという気持ちで、一生懸命勉強を頑張り、卒業の時には優等賞を頂きました。高楠先生は怖い先生だと思っていました、生徒の気持ちをつかみ、朝礼の時には、ためになるお話をして下さいました。また横山先生が印象的で、言葉が強く怖い先生でしたが、情の深い良い先生でした。

後輩に伝えたいこと

若い人達。今は幸せでも何時、何がおこるか判らないのが人生だと思っています。どんなことに直面しても強く正しく生き抜いて下さい。時間が掛かる

かもしれませんが、努力によって人生報われるのだと信じています。

幸せに過ごせている現在は若い頃の人生を思い出し考えることが私の幸せかもしれません。

プロフィール

昭和四年生まれ。七歳で満州に渡り八年間過ごす。高女一年生は満州。高女二年生より武蔵野女子学院。その後大妻で洋裁を一年間習い、お勤めを経て結婚。

● 岩崎 政子 (竹下 高女21回生) 女子学院での思い出



忘れられない思い出それは入学して間もない音楽の時間でした。花園先生だったと記憶しておりますが、男性の大変明るく素敵な先生でした。ドレミファソラシドではなく何とツェ、デ、エ、エフ、ゲ、アー、ハー、ツェ、とドイツ語の音符でした。何故か大人になったような楽しい音楽の授業でした。

一年後には、学徒動員になる

などとは考えもしない穏やかな楽しいひと時だったことは、私にとつてとても貴重な思い出です。

表紙の写真を撮られた動機

当時台湾(台北)に勤務していた父親宛にと昭和二十年一月五日に写真館で撮影したもので「政子は神風の鉢巻をした中島の作業服の姿で毎日必死に中島飛行機の工場へ通っています」と姉が手紙に入れた小さな写真でした。カーキ色の制服に身を包み、日の丸の鉢巻き、腕には「武蔵野女子学徒」と記された腕章を付け胸に工場マーク、名前と血液型が記されています。

後輩に伝えたいこと

七十年前の銀杏も毎年十二月三日には美しい紅葉を見せてくれますが、あの日の悲しみ、亡くなられた方達のことを忘れることはありません。当時十四歳の女学生が今八十四歳になりました。美しい自然のように人間もいつも変わらずに穏やかに生きられたら最高です。頂いた人生にただ感謝の毎日です。

プロフィール

学習院女子研究科卒業
三和銀行勤務 退職。

● 中島 桃子 (高校63回生)

アメリカモンタナ大学ビジネス学部
マーケティング学科 留学中

人生で一番充実した日々



シアトル空港で乗り換え、見たこともない田舎の山の中を二時間ほど飛ぶと着く、コテージのような空港。その規模の小ささに少し不安を覚えつつも始まった私のモンタナ生活は、今年で三年目に入りました。あの時の不安感とは裏腹に、人生で最も充実した日々を送っています。三年生も終わりに近づき、授業の難易度は上がるも月・水2コマ、火・木3コマ、毎週金曜は休みと、今年の春学期は大分落ち着いたスケジュールになりました。毎日十四時に授業が終わるの、残りの時間を自炊や宿題、就職活動等の勉強にあてています。母に「勉強しなさい」と言われてもやらなかった私。遅刻が得意だった私。そんな私が誰に言われるでもなく授業のない日も早起きして、一日のタスクを黙々とこなす。何人かの友達にも「あの桃子が?」と言われました。

日本にいる時は、まるで時間に限りなんてないような過ごし方をしていました。今では、何をやるにもどのくらい時間をかけるのかとても意識します。アメリカでの生活は、日本で暮らすより自分を縛るものが少ないです。注意してくれる両親もいませんし、自己責任の社会なので他人が何をしようかと他の人はあまり気にしません。自分に甘い私にとって、その環境は思ったよりも厳しかったです。間違ったことをしていても途中で止めてくれる人がいないので、自分に返ってくるまで分からないのです。

結果、自分の行動によって生じる責任と影響を考えてから物事を決めるようになりました。当たり前のことなのですが、私が今までずっとしてこなかったことです。この環境で生活したからこそ変えられたことの一つだと思います。

他にも多くのことを学び、色々な変化を得ました。とても内容の濃い三年間でした。ここでの生活は自分の成長が手に取るように分かります。気を紛らわす余計なものがない田舎町だからこそ、その成長が浮き彫りに見えるのかもしれません。自分の変化を日々感じたい、刺激的な生活をしたという方には、海外の大学で勉強してみることをオススメします。

先生 お元気 ですか？

おかげさまで元気です

元国語科教諭 柴田 雅子



平成九年に退職して十七年でしょうか。

学院の四季は美しく、私はいつもカメラを持ち歩いています。

退職の折『飛花落葉』と題して一冊に。扉は創立六十周年に雪頂講堂に代わった懐かしい第一講堂です。中庭にあった天をつく冬のメタセコイヤもあります。演劇部で夏休みに毎年合宿していた楽山荘のある富士見の風景もあります。

それぞれの時代の方々、それぞれの学院の四季を思い出してみてください。

昭和二十九年のアルバムに、最初の担任クラス中一紫

女子学院に期待する

元宗教科教諭 山崎 龍明



昨年の三月に定年退職をして学校を離れました。私事にわたって恐縮ですが、私が女子学院の教壇に立ったのは一九七二年四月、二十八歳の時でした。そのうち高校、大学の非常勤、専任として女子学院の門を四十年余り通らせていただきました。私の人生の半分以上が女子学院とともにありました。

私にとってはあつという間の四十年でした。現在とは時代がまったく異なり、すべてがおおらかな時代でした。文化祭、体育祭、球技大会等では学校中が熱くなっていました。楽しいことの方が多かったように思われます。

四十九人の生徒たちと楽しそうです。その頃、校門からの真正面が広い芝生でグラウンドでした。運動会の仮装行列に、先生も生徒も一緒になって校庭の芒を折ってラクダを作りました。「月の砂漠」の王子さまもおひめさまも覚えています。高校生と妙高に登山、足元に雲海を見たり、中学生の臨海学校で遠泳の応援をしたり。四十三年勤続に思ひ出すことは限りがありません。

退職して写真教室の例会を楽しんでいます。今、私の十年後に退職された炭山先生もお仲間です。今年も六本木の富士フォトサロンで七月三十一日から八月六日まで写真展をいたします。

昨年の散華乙女の追悼会に伺いました。「学院の生徒でよかったですね」と心から思いました。「み仏に抱かれて」おられることでしょう。

くれない会の皆様、これからもいろいろとご活躍くださいませ。

よろしく願っています。

しかし、時代は変遷し今日はきわめて厳しい時代社会の中にあります。いつでも時代は厳しいものですが、この頃は特にその厳しさが加速され、一層格差社会が顕在化し、少子高齢化社会といわれ、戦争しない国をめざした日本国が、「いつでも戦争できる国」をめざすようになりました。子供たちがのびのびと学校で学び、遊ぶことのできる教育環境は、平和でなくては保たれません。イラク、シリアなどの子供たちの悲惨は目をおおうものがあります。なんとかしたいものです。

仏教教育を標榜する女子学院に私は期待します。「殺してはならない。殺させてはならない。殺しを認めてはならない」という釈尊（ブツダ）の金言を教育の柱として、いつも、誰もがいきいきと学べる女子学院であることを切に願っています。

（四月十二日より毎月第二日曜日に「親鸞聖人からの手紙」と題して、NHKラジオ第2放送で一年間放送します。ご関心がありましたらお聞き下さい）

七回生 同期会

高校七回生（昭和二十二年卒）

幹事 渡辺 郁江 照沼 篤子

杉田 悦子 窪川 関子

平成二十六年四月二十一・二十二日「前回と同じ所ではいいのでは？」とお声を受けて、富士山麓の河口湖畔に一泊。山中湖では、水陸両用バスに歓声をあげ、温泉とご馳走とおしゃべりを楽しんだ二日間でした。

七回生 も早や喜寿を迎え、ご本人の体調不良や諸事情で外出もままならぬ方も多くなり、学年会の開催も危ぶまれます。今回で終わりにしようかとのご意見もある中で、私こそはと幹事をお引き受けくださる方のお声をお待ちしております。

（窪川記）



十二回生 同期会

高校十二回生（昭和二十六年卒）

山本 佳子

平成二十六年十一月十四日（金）吉祥寺の第一ホテル内にて二年振りの同期会を開きました。間近かのキャンセルが続きハラハラいたしました。参加者二十六名にて楽しく友好を深めました。

参加者から七十代を元気に過ごすには、「きょういく」（今日行くところ）

「きょういく」（今日用があること）が大事との話もありました。

次回は二年後です。体調に気を付けて、次の機会にまた、お会いしましょう。

三十五回生 クラス会

高校三十五回生（昭和五十九年卒）

澤浦 京子（松浪）

久しぶりの立川伊勢丹集合。十五名の高三黄組のなつかしい顔を見ることを楽しみに、一日千秋の思いでその日を待ちわびていました。

食事は、月日を離して行われるため、皆さんとの近況報告を伝え合う会話に夢中で、食べる口より話す口の方が先になってしまいました。

阿部先生の武蔵野女子学院を定年退職されてからの事、主婦になり子育て奮闘真っ最中の同級生、仕事を一生懸命勉強中の同級生、新しい事に挑戦・進行中の同級生等……

いろいろな変化のある時間軸の中、貴重な接点を過ごさせて頂けたことにありがたく、感謝するばかりです。

高校時代とは違い、大人になった今、人生の深さや厚みを沢山学びました。

今後、思い出のページを増やして行きたいです。



会員からのお便り

◆高女13回生 秋元 睦子（本多）

創立90周年記念号懐かしく拝見しました。在学中の高桶校長先生の聖徳太子の講話を思い出しております。

◆高女17回生 熊田 稠子（田口）

88歳を過ぎ外出もままならずお医者さんと仲良し。趣味の短歌とパソコンを楽しんでいます。今だに続いているグループ6名と電話でおしゃべりしております。

◆高女18回生 小間喜 緑

武蔵野女子学院での教育が私の心の中に脈々ときざまれ皆から貴女のような年のとり方をしたいなど褒められますとプラス思考で生きた私の人生は誇れます。毎日が幸せ一杯です。

◆高女18回生 飯屋 保子（中島）

「くれない」を拝見するのが楽しみです。同期の方の計報を拝見して淋しくなります。

◆高女18回生 菊地 直子（田中）

あれから70年。17才の時の出来事でした。今でも何かの時にふっと思い出して涙ぐんだりしています。

◆高女19回生 杉田 節子（野崎）

一日を大切に感謝しながら暮らしております。

◆高女19回生 松尾 由紀子（和田）

視覚障害者のための音訳奉仕を細々ながらしています。

◆高女20回生 三輪 佐子（井上）

脚が悪くなり外にはあまり出られなくなりましたが元気です。

◆高女21回生 梁瀬 幸子（高橋）

華道家元池坊の教授をしています。

◆高女21回生 中出 咲子

50歳から水墨画を描き国内外展に出品しています。

◆高女22回生 浅川 裕子（秋本）

70年前を想い浮かべると心の中が凍りつくようございます。高齢者在宅センターに行き書道、絵等を楽しんでいます。亡き諸姉に合掌させていただきます。

◆高女22回生 島田 栄子

あの頃の事いつも思い出します。登校したら校庭に一トン爆弾の大穴が開いていて上級生が亡くなり学校はしばらく休校となりました。最近はまだ戦争の匂いが感じられ心穏やかではありません。二度と戦争のない事を願って過ごしております。

◆高女22回生 吉野 静子（寺田）

83歳になる私です。元気で楽しく過ごしております。

◆高女22回生 浅田 珠枝（前田）

生涯スポーツの卓球、スタンドグラス、海外旅行と楽しい日々を過ごしております。

◆高女2回生 本村 八重子（進藤）

81歳ですが元気でウォーキング等しています。

◆高女2回生 松井 節子（鈴木）

大分高齢になりましたが地域でフラのおけいこ等に出掛けています。

◆高女2回生 染野 幸子

年相応にあちこち故障はあるものの元気で好きな陶芸に励んでいます。

◆高女2回生 小川 易子（中出）

画家（水墨画、パステル画）として

国内外にて活躍しております。

◆ 高校3回生 井上 永子(吉田)

元気に暮らしております。同窓会がなくなり少々淋しくなりました。親しい友人5人とは毎月会っております。

◆ 高校3回生 佐藤 弘子(浅井)

幼稚園に勤務しています。園庭に泰山木の樹があり白い花が咲くと高校時代教室の窓から見ていた風景を想い出します。

◆ 高校3回生 田ノ井 玲子(石川)

「くれない」楽しく懐かしく拝読しています。

◆ 高校3回生 前田 萩子(徳永)

創立90周年おめでとうございます。青春のひと時を学ばせていただいた誇りと感謝の気持ちをお伝えします。

◆ 高校3回生 中村 寿子(藤本)

散華された方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。私の入学の一年前の事でした。

◆ 高校4回生 宮崎 安子

80歳になりましたが水泳、麻雀にと余生を楽しんでおります。

◆ 高校4回生 佐久間 香織(須藤)

10月の文化祭に同級生4人で伺いました。60年振りの母校はあまりの変わりようで昔の面影は紅雲台の側の泰山木だけでした。若い若い後輩のお点前をほほえましく頂戴いたしました。

◆ 高校5回生 斎藤 昌子(原)

朝の目覚めで先ず感謝の心が湧いてくるようになりました。何もかも当たり前ではないですね。いつも元気なシャーコより

◆ 高校5回生 鈴木 玲子(藤巻)

もうすぐ80歳。元気です。絵手紙を書いたりキーボードを弾いたり、ソシアルダンスでタンゴを踊ったり毎日楽しんでおります。

◆ 高校6回生 佐藤 幸子

尾崎先生の「思い出す戦後、そしてー」を読ませて頂き、その当時のご苦労が忍ばれます。私達高校6回生の同期会、近畿支部会に時間の許す限りご出席下さいます。私にとつて最も大切な先生のお一人です。いつまでもお元気でいらしてほしいです。

◆ 高校7回生 村田 都奈江(上田)

創立90周年心からお祝い申し上げます。素敵な大好きな学校本当にバンザイ!!です。

◆ 高校9回生 船橋 絢子(山本)

創立90周年記念号表紙の写真は私達の学年でしたのでとても懐かしく拝見致しました。

◆ 高校10回生 手塚 由美子(田島)

近くの弘前公園の桜がきれいです。遠距離の為同窓会出席も大変ですが行きたい気持ちあります。

◆ 高校11回生 小堀 克江(成相)

神戸に参りまして34年。くれないはふる里に帰った様に懐かしく嬉しく拝見しております。高校11回生の学年会が欲しいです。どなたかご尽力下さいませんか。楽しみにしております。

◆ 高校12回生 小澤 光世(佐々倉)

卒業して50年以上過ぎましたが同期生六人「ぼだい樹の会」として友情を

温めています。

◆ 高校13回生 松野 正子(小山)

「くれない」歴史ある又歴史に残る記事が多く掲載されておりました。大切に保管して時々読み返してみたいです。日々が懐かしく思い出されます。

◆ 高校15回生 金子 弘子(斎藤)

母校90周年大変重みを感じました。表紙の学徒動員の先輩のお姿は衝撃的でした。

◆ 高校16回生 渡辺 由美子(篠原)

尾崎先生のお顔写真を懐かしく拝見致しました。

◆ 高校17回生 沢野 三枝子(北村)

実母の介護を続けながらも長女一家、長男一家との合同旅行を楽しんだりしています。

◆ 高校19回生 石井 眞美(今中)

詩集を出しました。石井眞美詩集「冬のバラ」日本文学館です。

◆ 高校20回生 柴田 万里子(吉田)

「くれない」会報創立90周年記念号レイアウトも編集も刷新されて新しいスタートという感じですね。中高の生徒入学者数の厳しい状況下とても心配です。伝統と歴史だけでは少子化の現在を生き残っていけないのが現実なのですね。

◆ 高校21回生 森 なおみ(岡崎)

中学で家庭科の講師をさせて頂きました。お声を掛けて下さったのは尾崎先生でした。記念号には講師時代にお世話になった先生のお顔とお名前が沢山あり懐かしくなりました。

◆ 高校31回生 小久保 昌子(森)

毎年楽しみに読んでいます。菅野先生、柴田先生にお会いしたいです。

◆ 高校31回生 荻野 浩美(國島)

今夏8月にネットShopをオープンしました。「あなたが主人公になって物語が展開する世界にたった1冊の絵本をおつくりしています」

URL www.ehonhugbiz/

◆ 高校32回生 齋藤 潮美(田原)

会報の中に當麻先生のお顔を拝見し、自分の卒園した幼稚園の園長先生が大先輩であったとは大変驚きました。大変懐かしく、お元気でお過ごしのご様子、嬉しく思いました。

◆ 高校33回生 端 圭子(藤本)

「くれない」が送られて来ると学校や恩師を思い出しながら学生時代を振り返り母と話をはずませています。

◆ 高校35回生 櫻井 香(三浦)

三年前の同窓会以来、高校時代の友人とたびたび会う生活が始まりました。昔に戻れたみたいでとても楽しいです。

◆ 高校59回生 岡下 夏海(早田)

高校2年の時ロータリークラブでアルゼンチンに留学させていただきました。東京学芸大学に進学しイタリアの輸入代理店に就職しましたが、昨年大学の同級生と結婚致しました。東京からは離れていますが懐かしく思い出すのはムサ女の緑の校内です。

その他たくさんのお便りいただきました。ありがとうございました。

散華乙女追悼会 ―七十年の節目に

高校十六回生（昭和四十年卒） 高橋 洋子（北爪）

お経とともに散華が美しくまかれた七十回目の法要は、静かで穏やかに行われました。その後行われた懇談会には、戦争を体験した八十歳代の方々から中学三年の在校生まで幅広い年代が集まりました。中学生からは、戦争中の学校の様子や学徒勤労動員の質問などがあり、八十代と十代の対話はほほえましく、そこには言葉で伝え合うことの重みと飾らない真実があるように感じました。また、戦争を直接知るひとが少なくなつた今、当時の出来事や思いを聞かせていただけたことは、貴重なことでした。
ご高齢をおして出席下さった方々に感謝申し上げますとともに、二度と戦争をしてはいけないという思いを心に留める日でした。



バス旅行

高校二十四回生（昭和四十八年卒）

田部井 優子（松村）

風の冷たい秋、日帰りバスツアーに板垣先生の講話を聞きたく初めて参加しました。皆女子高生に戻り、初めてお会いする方でも先輩後輩と、楽しい会話がはずみ同じ学校で学んだ思いで、ひとつになれる不思議な暖かさに包まれました。私はこの一年半、実母義母の死や、娘の出産、父、弟の介護と、命と向き合う日々でした。先生の「花は、咲く事だけ一生懸命思っているから美しい」と言う言葉を思い出し、一日一日を重ねるように過ごして来ました。先生、ありがとうございました。築地本願寺での拝観は、学生時代の報恩講を思い出しパイプオルガンの響きの中、幸せな時間でした。このような、ご縁をいただき、役員の方々に、お礼申しあげます。



文化祭バザー「くれない」に参加して

高校九回生（昭和三十三年卒） 井上 知子（北条）

秋日和、中庭から焼きそばやクレープの良い匂いがただよって来ます。わが「くれない」のバザールームからは、賑やかな笑い声があふれています。恒例の樹華祭にOGである私達が、一室をお借りして、手作りの手芸品、ご好意による食器・衣類・アクセサリーバッグ等、所狭しと並び、茶店も開きます。なんといいっても上級生の高女の方から、卒業したばかりの方まで、その年齢差七十歳ほど――。エプロン姿で売り場に立ち接客しています。
親娘二代同窓の方、孫が入学したので、と関西からいらした方、あちこちでミニミニ同窓会。
この拙文を読んで下さったくれない会の会員の皆様、今年十月十、十一日です是非、クラスメートを誘ってお出掛け下さい。おまちしてます。



くれない会教養講座

料理教室に参加して

高校十八回生（昭和四十二年卒）

勝部 洋子（渡辺）

「心にやさしい豊かな粗食」というキャッチフレーズに誘われて、会報到着してすぐに申し込み、くれない会行事に初めて参加させて頂きました。

お料理教室は若い頃に行つた経験はあったのですが、久しぶりに皆様とわきあいあいに協力して作る事がとても楽しかったです。当然のごとく、皆様さすがベテラン主婦の集まりですので、若い時のようなぎこちなさがなく、楽しさになおさら拍車がかかって、とても

素敵で美味しいお料理が一時間足らずで、五品も出来とても満足でした。
間野先生は、そのご年齢と思われないほどお若くて、かもし出される雰囲気、お言葉がやさしく、とても温かく、こんなに素敵な先輩がいらっしゃる事を誇らしく感じました。
さすが同窓生の集まり、すてきな姉妹に囲まれ、こころ良い時を過ごさせて頂いた一日でした。
企画された役員の皆様方に感謝いたします。



近畿支部だより

高校十六回生 藤尾 房江 (浅見)

こんにちは。今年はいよいよ設立五十年の節目を迎える近畿支部です。

第四十九回の支部会は、新しい大阪のランドマーク、日本一高いビル、あべのハルカスで行われました。

本部から阿部会長、関根様、広島から鷹谷先生ご夫妻もご出席下さり、総勢十六名で、おいしい中華料理を頂きました。

食事会のあとは、三〇〇メートルの展望フロアに昇り、雲ひとつない晴天のもと眼下に広がる雄大な景色を楽しみました。

近畿支部は、高女卒の方々が中心になられて、五十年の永きにわたって活動してきました。

阪神淡路大震災の際には、会員の安否確認に奔走され、女子学院卒業生の絆の強さを示してくれました。

五十回の支部会を迎えるにあたり、京都の西本願寺に参拝できたら、という声が上がりました。

本部も全面的に協力して、東京からも参加者を募って下さるようになりました。

大変心強く、十月の支部会が楽しみになりました。

近畿支部の皆様には、ぜひとも万難を排して、一人でも多くの方がご参集下さいますようお願い申し上げます。



入試相談室より同窓生へお知らせ

中学・高等学校受験者の武蔵野女子学院への入試優遇措置についてお問い合わせ下さい。

▼入試相談室 042(468) 3377 (直通)

訃報

(敬称略・回生順)

謹んで哀悼の意を表します。

元中高主事 大澤 永弘

平成26年10月27日

高女17回生 津山 恭子(中原)

平成25年5月19日

高女22回生 藤巻 素子(我妻)

平成26年2月16日

中高教諭 小澤 和子

平成26年10月27日

高女17回生 久野木ミヤ(吉野)

平成26年11月8日

高女22回生 伊藤 秀子(金子)

平成26年7月4日

高女3回生 宮村 房子(渡辺)

平成25年7月28日

高女17回生 森田 美津(本多)

平成25年7月12日

高校2回生 千葉佳江子(小谷田)

平成26年10月30日

高女3回生 杉原 秀子(井上)

平成26年9月6日

高女17回生 守 節子(関)

平成26年6月18日

高校2回生 巖 陽子(榎原)

平成24年5月9日

高女5回生 角田 豊

平成24年8月22日

高女18回生 柿沼 禎子(河原)

平成22年10月24日

高校3回生 往西 コウ(堤)

平成25年11月24日

高女9回生 宮地 久枝(牧野)

平成25年2月28日

高女18回生 安原 暎子(栗田)

平成25年3月9日

高校4回生 北川 直子(菊地)

平成25年9月22日

高女10回生 別府 君子(中井)

平成25年5月5日

高女18回生 箱山 佳代(松浦)

平成26年2月2日

高校5回生 森田 暁子(松岡)

平成26年1月6日

高女13回生 山本喜美恵(岡村)

平成25年5月19日

高女18回生 平田 比沙(谷口)

平成25年7月31日

高校5回生 江口 和子(渡辺)

平成25年7月14日

高女14回生 神山 波島(頼)

平成10年2月

高女18回生 谷田 操(野田沢)

平成25年7月31日

高校8回生 下田 悦子

平成26年5月4日

高女15回生 村越 園子(宮川)

平成14年3月19日

高女18回生 鈴木 エミ

平成25年3月

高校12回生 若山 征子(藤本)

平成24年1月

高女16回生 横山 章子(田中)

平成25年9月14日

高女18回生 丸 まさ子(当麻)

平成26年9月17日

高校13回生 青木 律子(山田)

平成25年

高女16回生 山口みよ子(野本)

平成24年3月23日

高女19回生 小林八重子

平成26年5月5日

高校16回生 山縣 順子(加藤)

平成25年12月20日

高女16回生 高井 智子(池谷)

平成21年9月20日

高女21回生 星野 永枝(宮)

平成26年9月6日

高校19回生 半井 和子(前沢)

平成24年11月17日

高女16回生 浅田 弘子(茂木)

平成26年3月31日

高女21回生 繁澤 敏子(鈴木)

平成26年10月5日

高校20回生 桑田 令子(岡林)

平成25年9月9日

高女17回生 田口 昭子(安東)

平成23年9月10日

高女21回生 宮沢 郁子(高橋)

平成26年12月1日

高校28回生 沖中 すみ(徳弘)

平成25年7月26日

高女17回生 尾又 和子(尾崎)

平成14年12月13日

高女22回生 島田寿美江(竹重)

平成25年10月14日

高校33回生 荒川きよみ

平成25年5月12日

高女17回生 久保田 利(小山)

平成24年4月

高女22回生 川邊 歌子(鈴木)

平成27年1月6日

平成25年度 決算報告

収入の部

単位：円

項 目	A 予算額	B 決算額	差引額	備 考
前年度繰越金	1,593,030	1,593,030	0	
入会金	3,900,000	3,900,000	0	15,000 × 260 名分
銀行利息 他	1,000	464	▲ 536	普通預金の利息
寄付金	100,000	121,000	21,000	
雑収入 等	0	15,360	15,360	バスハイク残金
維持会費	2,100,000	1,995,000	▲ 105,000	1,000 × 1995 名分
合 計	7,694,030	7,624,854	▲ 69,176	

支出の部

単位：円

項 目	A 予算額	B 決算額	差引額	備 考
くれない会基金積立	1,000,000	1,000,000	0	
通信費	130,000	61,208	68,792	電話・葉書・切手
会報費	2,300,000	2,117,680	182,320	印刷・発送費・封筒印刷
総会費	60,000	46,096	13,904	2 部出演料
会議費	90,000	55,446	34,554	委員会・むらさき会会議
講習会レク費	80,000	67,252	12,748	手芸講師お礼・交通費
慶弔費	110,000	94,900	15,100	平成 25 年度 5 月まで同窓生香典・その他花代
渉外費	70,000	75,071	▲ 5,071	中元・歳暮・散華乙女追悼会費用
近畿支部交流費	200,000	206,000	▲ 6,000	近畿支部出張費・近畿支部運営費補助
新卒関係費	180,000	194,137	▲ 14,137	215 名分記念品
消耗品費	200,000	53,150	146,850	文具・タックシール他
交通費	350,000	417,530	▲ 67,530	事 務 局
人件費	1,400,000	1,295,200	104,800	事 務 局
振込手数料	210,000	196,550	13,450	維持会費振込料
予備費	30,000	132,920	▲ 102,920	パソコン・電話機・サーキュレーター
雑費	30,000	5,432	24,568	お茶・台所用品・紙コップ他
事務費	0	5,250	▲ 5,250	パソコン点検料
インターネット	0	31,846	▲ 31,846	回 線 使 用 料
小計	6,440,000	6,055,668	384,332	
次期繰越金	1,254,030	1,569,186		
合 計	7,694,030	7,624,854		

平成25年度 くれない会基金決算報告

収入の部

単位：円

項 目	金 額
前年度繰越金	64,031,575
入会金より基金積立	1,000,000
文化祭収益	120,564
寄付	1,000,000
受取利息	293,839
合計	66,445,978

今年度は支出はありませんでした。

繰越金＝前年度繰越金＋収入＝ 64,031,575 ＋ 2,414,403 ＝ 66,445,978

以上の通り、報告いたします。

平成 26 年 5 月 15 日

会計 市川 恭子
尾澤 のり子

平成 26 年度決算報告書は、収支、関係書類類、審査した結果、正確なものと報告いたします。

平成 26 年 5 月 15 日

会計 山本 佳子
高田 悦子

平成26年度 予算

収入の部

単位：円

項 目	平成25年度決算額	予算額	備 考
前年度繰越金	1,593,030	1,569,186	
入会金	3,900,000	3,225,000	15,000 × 215 名
銀行利息 他	464	500	普通預金利息
寄付金	121,000	10,000	
雑収入 等	15,360	0	
維持会費	1,995,000	2,000,000	
合 計	7,624,854	6,804,686	

支出の部

単位：円

項 目	平成25年度決算額	予算額	備 考
くれない会基金積立	1,000,000	800,000	
通信費	61,208	70,000	電話・葉書・切手
会報費	2,117,680	1,910,000	印刷・封入・発送費・封筒・伝票印刷
総会費	46,096	60,000	茶菓子・レクリエーション出演料
会議費	55,446	80,000	委員会・むらさき会会議費他
講習会レク費	67,252	80,000	講師お礼・交通費・バス旅行補助他
慶弔費	94,900	60,000	お花代他
渉外費	75,071	40,000	中元・歳暮他
散華乙女追悼会	0	40,000	散華乙女費用
近畿支部交流費	206,000	210,000	近畿支部出張費・近畿支部運営費補助
新卒関係費	194,137	200,000	新卒記念品
消耗品費	53,150	0	事務消耗品として計上
交通費	417,530	450,000	事務局
人件費	1,295,200	1,300,000	事務局
振込手数料	196,550	210,000	維持会費振込料
予備費	132,920	100,000	
雑費	5,432	30,000	お茶・台所用品・紙コップ他
事務消耗品	5,250	100,000	文具・タックシール他
インターネット	31,846	100,000	回線使用料
次期繰越金	1,569,186	964,686	
合計	7,624,854	6,804,686	

平成26年度 文化祭会計報告

収入の部

バザー売上金	
1 日目	147,755
2 日目	53,615
合 計	201,370

支出の部

中高その他へのお礼	4,320
中高紫紅会への活動助成金	30,000
食事・お茶・菓子	46,018
クロススクリーン 3 個 購入	15,390
合 計	95,728

収入－支出＝差引 105,642

※収益金 105,642 円は、くれない会基金に繰り入れました。

以上の通り報告致します。

平成 26 年 10 月 20 日

会計 市川 恭子

平成27年度
武蔵野大学
「日曜講演会」
日程表

時 間：10：00～11：30
会 場：武蔵野キャンパス
4 月は雪頂講堂
上記以外は 5 号館
(グリーンホール)
仏教教育部事務室
TEL 042-468-9424

月 日	所属・役職	講 師	講 題
H27 4/26	学校法人 武蔵野大学 学院長	田中 教照	親鸞聖人の「悪人正機」ということ
5/17	京都女子大学 准教授	黒田 義道	親鸞聖人の寛喜の内省 一災害・病氣・信心一
6/21	国立歴史民族博物館 准教授	山田 慎也	告別式の変遷と死生観
7/19	大正大学 特任専任講師	石川 琢道	日本浄土教の起源をたずねて 一曇鸞大師一
9/13	浄土真宗本願寺派総合研究所 研究員 武蔵野大学 非常勤講師	前田 壽雄	法然と親鸞 念仏の教え
10/11	武蔵野大学法学部 教授	中村 孝文	憲法の背景にある考え方 一個人と命の大切さ一
11/15	岐阜聖徳学園大学教育部 准教授	河内 義邦	真宗の救いと大乘仏道 一親鸞の宗教的原体験の深まり一
12/20	龍谷大学名誉教授	浅田 正博	どうして人を殺してはいけないかと問われれば
H28 1/10	武蔵野大学看護学部 講師	長尾 重輝	聞法 一仏教を学ぶということ一
2/21	武蔵野大学 学長	寺崎 修	仏教界の抱える課題

ステップアップ奨学金

武蔵野大学では創立 80 周年を記念し、建学の精神の顕揚と優れた人材の育成に資することを目的として創設した「ステップアップ奨学金」を、平成 27 年度も公募いたします。

その他、応募の詳細については、大学のホームページをご参照ください。

<http://www.musashino-u.ac.jp/>

生涯学習講座

本学の建学精神である仏教と、仏教の影響を受けた能・狂言に関する講座のほか、文学、政治経済、心理、教育、環境、医薬学など本学の特色を生かした魅力ある講座を年間 200 講座以上開講し、好評をいただいております。入会金は不要です。

■ 三鷹サテライト教室 (JR三鷹駅北口1分)

平成 27 年度前期講座 (抜粋)

講 座 名	講師名 (敬称略)
妻 恵信尼からみた親鸞	山崎 龍明
西行と待賢門院璋子	三田 誠広
【無料講座】自転車安全問題を考えましょう	橋本 修左

など
90 講座以上

■ 千代田サテライト教室 (千代田女学館中学校・高等学校校内)

(JR 四ツ谷・市ヶ谷駅徒歩 7 分、東京メトロ有楽町線麹町駅・半蔵門線半蔵門駅徒歩 5 分)

※ご希望の方には「講座一覧表」をお送りいたしますので、お問い合わせください。

武蔵野大学 生涯学習 検索

近畿支部 設立五十周年記念事業

京都西本願寺参拝旅行とお祝いの会

日程 平成27年 **10月29日(木)** ～ **30日(金)**

1泊2日

旅行代金 お一人様 **49,000円**

(日帰り料金 38,000円) (※30名様以上の場合)

行程

現地発着 (3コース)

〔1日目〕 東京駅10時頃発 — 京都駅12時20分頃着 — 西本願寺集合13時30分

／参拝式14時～14時20分 拝観

(書院・飛雲閣) 14時30分～15時

30分 — お祝いの会16時～18時

『京都東急ホテル』泊

〔2日目〕 朝食 — ホテル出発9時30分 — 青蓮院・知恩院・円山公園・八坂神社

拝観9時50分～11時50分 — 昼食「いもぼう平野屋」12時～13時

／京都駅へ — 東京駅18時頃着 解散

① 平成27年10月29日(木) ～ 30日(金)

参拝式・拝観・お祝いの会・宿泊・観光・昼食

1泊2日 旅行代金 27,000円

② 平成27年10月29日(木) ～ 30日(金)

参拝式・拝観・お祝いの会・宿泊

1泊2日 旅行代金 21,000円

③ 平成27年10月29日(木)

参拝式・拝観・お祝いの会

1泊2日 旅行代金 7,000円

お申し込みは各自、くれない会事務局へまたは、近畿支部へ、6/15(月)までに電話・FAX・メールにてお申し込み下さい。



平成27年度 くれない会 教養講座

日程

6月18日(木) 13:30～

11月12日(木) 13:30～

12月10日(木) 13:30～

講師

山路 智恵 (高校51回生) 山路智恵絵手紙美術館 館長

高田 悦子 (高校20回生)

矢吹 春恵 (高校21回生) フラワーデザイナー アトリエアチブーク主宰

内容

絵手紙

手芸

お正月飾り

お申し込みは2週間前までに電話・FAX・メールにてお願いします。ご不明な点はくれない会までご一報下さい。

文化祭へのおさそい

〔日時〕 **10月10日(土)** 11時15分～16時
10月11日(日) 10時～16時

〔場所〕 高校校舎

……バザー用品のご寄付のお願い……

◆衣類(新品)・雑貨・食器・食品(賞味期限内のもの)・手芸品等々
◆夏休み以外一年中受け付けております。

総会のお知らせ

日時 **6月6日(土)** 午後1時30分～2時30分
場所 中高校舎フリールーム
議題 活動報告・活動予定 会計報告・予算・その他

「ピアノお披露目会」

◆午後2時30分～3時20分
ピアノ披露
◆本校合唱部と、顧問 杉浦みずほ教諭による歌曲「春よ来い」「ハナミズキ」他

武蔵野女子学院同窓会 くれない会

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
TEL・FAX 042-468-3161
E-mail kurenai@musashino-u.ac.jp

連絡先

開室 月・木 午後1時～4時
武蔵野女子学院 くれない会 検索

個人情報取り扱いについて

くれない会におきましては、個人情報保護法に基づき、個人情報を会員以外には、お知らせしていません。又、問い合わせ等は、相手先確認了承の上、対処しております。名簿等を送付するときは、責任者・幹事の方へ適切な対応をしております。

平成26年度 活動報告

- ① 会報「くれない」第35号、90周年記念号発行 5月31日(土)
- ② 委員会 6月14日(土)
- ③ 総会 9月27日(土)
- ④ 近畿支部会 10月11日(土)、12日(日)
- ⑤ 樹華祭バザー参加 10月28日(火)
- ⑥ 日帰りバス旅行 12月3日(水)
- ⑦ 散華乙女追悼会 2月23日(月)
- ⑧ 高校66回卒業生同窓会入会式 6月開催
- ⑨ くれなゐ会教養講座 年2回
- ⑩ 「むらさき会」との会合
- ⑪ 母校行事に出席 中学・高校入学式、同慶節、雪頂忌、彼岸会、散華乙女追悼会、中学修了式・高校卒業式

平成27年度 活動予定

- ① 会報「くれない」第36号 散華乙女70年出版記念号発行 5月23日(土)
- ② 委員会 6月6日(土)
- ③ 総会
- ④ 樹華祭(バザー)参加 10月10日(土)、11日(日)
- ⑤ 西本願寺参拝・お祝いの会 10月29日(木)、30日(金)
- ⑥ 散華乙女追悼会 12月3日(木)
- ⑦ 高校67回卒業生同窓会入会式 2月22日(月)
- ⑧ くれなゐ会教養講座 3月開催
- ⑨ 「むらさき会」との会合 年2回
- ⑩ 母校行事に出席 中学・高校入学式、同慶節、雪頂忌、彼岸会、散華乙女追悼会、中学修了式・高校卒業式

くれない会が戦争証言集を今春刊行いたしました

あの日をわすれないために

武蔵野女子学院生の戦争証言集

四六判 定価 一五〇〇円



勤労働員の武蔵野女子学院生

七十年前の戦争の悲劇を忘れないために、武蔵野女子学院同窓会くれない会は、当時の学院生の貴重な証言を集めた冊子『あの日をわすれないために』を制作いたしました。

同窓生はもちろん、多くの方々に、本校の歴史の一部である、あの日を忘れないために是非お手元に置いていただければ幸いです。

くれない会 会長 阿部美枝子

…… ご寄付のお願い ……

くれない会運営の為に、皆様のご寄付をお願いいたします。

お申込み方法

赤い払込取扱票に、『あの日をわすれないために』（二五〇〇円）の冊数と本代、郵送を希望される方は、送料を、一律五〇〇円（二冊まで）ご記入下さい。又、くれない会にご寄付くださいます方は、金額を記入の上、合計金額を必ず明記して郵便局にてお振込みをお願いします。

くれない会事務局にて直接販売しております。（委員会・総会・文化祭バザーにおいても販売いたします。）尚、紀伊國屋書店（新宿本店、新宿南店、横浜店、吉祥寺東急店）にて販売しております。（この場合は別途消費税がかかります。）その他ご不明な点に關しましては、くれない会までお問い合わせ下さい。

冊数をご記入下さい

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
02	001505	001505	001505
同窓会くれない会		同窓会くれない会	
本代 @1500円 × 冊	円	同窓会くれない会	円
送料 (一律500円) 2冊まで (郵送希望者のみ)	円	同窓会くれない会	円
ご寄付	円	同窓会くれない会	円
合計 (ご記入ください)	円	同窓会くれない会	円
封筒の宛名シール上のNo. #をご記入下さい。No. #		封筒の宛名シール上のNo. #をご記入下さい。No. #	

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	001505	001505	001505
同窓会くれない会		同窓会くれない会	
維持会費専用		同窓会くれない会	
本代 @1500円 × 冊	円	同窓会くれない会	円
送料 (一律500円) 2冊まで (郵送希望者のみ)	円	同窓会くれない会	円
ご寄付	円	同窓会くれない会	円
合計 (ご記入ください)	円	同窓会くれない会	円
封筒の宛名シール上のNo. #をご記入下さい。No. #		封筒の宛名シール上のNo. #をご記入下さい。No. #	